

【1】 次のa～dにあてはまる語句を書き入れなさい。

5点×5

物質を燃やすと、空気中の酸素と化合して a(熱)や b(光)を発生させる。※ a・b順不問

冬場によく使われるカイロは化学変化のときにおきる c(発熱)反応を利用している。

逆に、温度が下がる反応を利用したものを d(吸熱)反応という。

化学変化によって熱を取り出すことのできるエネルギーを e(化学エネルギー)という。

【2】 次の①～④は【1】のcとdどちらの反応か、記号で答えなさい。

5点×4

① 熱 + 物質D ⇒ 物質E + 物質F (d)

② 物質A + 物質B ⇒ 熱 + 物質C (c)

③ 塩化アンモニウムと水酸化バリウムの反応。 (d)

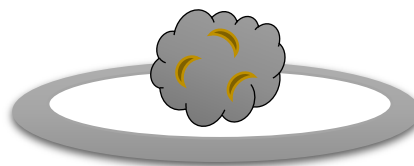
④ 活性炭と鉄粉を混ぜた混合物に食塩水を加える。 (c)

【3】 鉄粉と硫黄の粉末をよく混ぜ合わせ、少量の水を加えてだんごをつくり実験を行った。

5点×4

① このだんごの温度をはかるとある変化が見られた。
それはどのような変化か書きなさい。

(温度が高くなる。)



② ①の結果からこの実験では発熱と吸熱のどちらが起こったと考えられるか。

(発熱)

③ しばらくするとだんごから白い気体が出てきた。この気体の主な成分は何か、化学式で答えなさい。

(H_2O)

④ この反応でおきた変化を化学反応式で書きなさい。

($Fe + S \rightarrow FeS$)



No. () 年 組 名前